佐用町立図書館通信 No.113

としょかん生活

2020（令和2年）1 Jan

すべての町民の暮らしを応援します

●編集・発行／佐用町立図書館　〒679-5301 佐用郡佐用町佐用 2585 番地
Tel：0790-82-0874　Fax：0790-82-0313　E-Mail：toshokan@town.sayo.lg.jp

『 探検家とペネロペちゃん 』

角幡唯介／著
幻冬舎　2019年

本書は、ノンフィクション作家で探検家でもある著者が、娘ペネロペ（本名「あお」）の育児に赤ちゃんの時から参画し、観察して感じたことを綴ったエッセイである。

ハイハイから歩くようになるまでが異様に早く、自由奔放わがまま放題でしつけには苦労したが、周りの人々や動物園のオラウータンをも魅了する愛くるしさをもつペネロペ。将来はゴリラ研究者にするため、定期的に動物園へ連れて行くが、最初は不思議そうな顔をするだけで動物も認識できていなかった。1歳前後になり言語能力が発達し始めた頃、図鑑や動物が出てくる絵本を読み聞かせしたあと連れて行くと、ゾウやキリンと個体で分類できるようになり、世界は言語で構成されていることを娘の姿で目の当たりにした。2歳になると、身近な異性である父親だけに見せる甘えと駆け引きで願望を叶えてもらう技をいつの間にか身に付ける。要求に答えてしまう親バカな父親としては当惑しながらも、本能的な「女性」性に驚かされた。ほかにも、娘の存在の大きさが死への恐怖を高めたことや、親子で北八ヶ岳を登頂し達成感を味わったことなど、4歳までのエピソードが詰まっている。

なぜ「ペネロペ」と呼ぶのか興味がわくとともに、「生誕とは未知なる発見をする探検である」と語る著者の視点から、成長と育児の面白さを考察する好奇心旺盛な姿が伝わってくる。子をもつ親の一助にもなる一冊。（中尾）

1月 睦月　としょかんカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 年末年始による休館	3	4
5 おはなし会 14：00～ 14：30～	6 月曜休館日	7	8	9	10	11 おはなし会 14：00～
12 おはなし会 14：00～ 14：30～	13 月曜休館日	14	15 0・1歳 わらべうたとえほん 10：30～	16	17	18 おはなし会 14：00～
19 おはなし会 14：00～ 14：30～	20 月曜休館日	21	22	23	24	25 おはなし会 14：00～
26 おはなし会 14：00～ 14：30～	27 月曜休館日	28	29	30	31 館内整理日	

2月 如月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

※館内整理日による休館
1月31日（金）
※祝日による休館
2月11日（火）、2月23日（日）
※年末年始による休館
12月28日（土）▶1月4日（土）

「アキノイサム絵本原画展」2/5▶2/16
「コンフント・アンデス コンサート」2/8

■色の日は休館日です。
開館時間／午前10時から午後6時

◆アキノイサム絵本原画巡回展関連イベント
「コンフルト・アンデス コンサート」2月8日（土）開催　観覧者募集！
南米音楽の演奏活動を行う８人グループのコンサート。詳しくは別紙チラシ

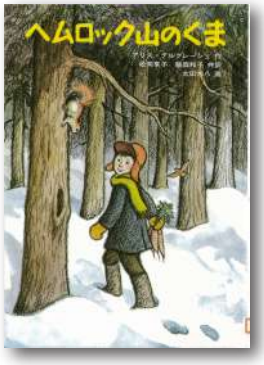
Book Review

図書館司書おすすめの一冊

◆としょかんの電話　82－0874

『 ヘムロック山のくま 』

アリス・デルグレーシュ／作
松岡享子　藤森和子／共訳
福音館書店　1976 年



寒さのきびしい冬のある日、ジョナサンはお母さんから一人でヘムロック山を越えておばさんの家から大きな鉄なべを借りてくるように頼まれます。山にはくまがいるかもと聞くジョナサンに、お母さんはいないと答え、暗くならないうちに帰るように言いました。

雪が積もる山はあまりに静かで心ぼそく、ジョナサンは自分の足音にあわせて、くまなんかいないと言いながら山の中を進み、ようやくおばさんの家に着きました。暖かい家の中に入れてもらい、焼きたてのクッキーと牛乳をいただき眠ってしまいます。目を覚ますと日が暮れかけていてあわてて帰りますが、しばらく行くとなべを借り忘れたことに気づき引き返します。辺りはいよいよ暗くなりますが、大きな鉄なべは重くて早くは歩けません。すると、山のてっぺんの木の間から、二匹の大きなくまが現れます。ジョナサンは鉄なべを逆さにして雪の上に置き、雪を掘ってその下にもぐり込みます。くまたちは鼻をならしてにおいをかぎ、なべの周りの雪をひっかきはじめました。

自分をはげましながら、おつかいを果たすジョナサンの恐れや驚き、喜びが伝わってきます。お父さんやおじさんたちが鉄砲を持って迎えにきてくれ、お母さんに大きななべを一人で運んできたと誇らしげに伝えるジョナサンの姿に笑みがこぼれます。（馬場）

『 おばけのジョージー 』

ロバート・ブライト／さく・え
光吉夏弥／やく
福音館書店　1978 年

ニューイングランドの小さな村に、ホイッティカーさんの家がありました。この小さな家の屋根裏にすむ小さいおばけのジョージーは、夜になると同じ時間に階段をみしりとならし、ドアをぎーといわせていました。それで、ホイッティカーさん夫婦は、ねる時間だと気づき、ねこのハーマンはねずみをさがしまわる時間、ふくろうのオリバーは目を覚ましてほーほーとなく時間だとわかりました。ところが、ある日ご主人が階段のゆるんだ板に釘を打ち、ドアのちょうつがいに油をさしたせいで、階段やドアの音がしなくなりました。みんなは時間が分からなくなり困ったことになりました。うかないジョージーはおばけが住むのにいい家をさがしに出かけますが、どの家にもおばけが住んでいました。おばけのいないかわりもののグロームズさんのところへいったジョージーは、しぬほど怖い思いをします。やがて、日がたち雨や寒さでホイッティカーさんの家の階段の床がゆるみ、ドアのちょうつがいがさびたことに気がついたねこのハーマンは、ふくろうのオリバーに知らせます。オリバーから知らせをきいたジョージーは全速力でとんで帰りました。

ホイッティカーさん夫婦の人柄やジョージーのことが大好きなねことふくろうのようすが、落ち着いた単色で細部まで丁寧に描かれています。元の生活に戻れたジョージーのうれしくてたまらない仕草に安堵感が広がります。（水鳥）

あそばせ隊 おはなし会

毎週土曜日／ 14：00 ～ 14：30
幼児・小学生対象

図書館 おはなし会　毎週日曜日

小さい人（5歳以上）／ 14：00 ～ 14：30
1月のおはなし
『はなたれ小僧さま』（子どもに語る日本の昔話③ こぐま社）
大きい人（小学3年生以上）／ 14：30 ～ 15：00
1月・2月のおはなし
『冬将軍のマロース』（子どもに語るロシアの昔話 こぐま社）

※いずれも図書館おはなしコーナー　事前申し込み不要

EVENT INFOMATION

アキノイサム 絵本原画 巡回展

播磨科学公園都市圏域定住自立圏連携事業の一環として、2市2町（たつの、宍粟、上郡、佐用）で巡回しているアキノイサム氏の絵本原画展が佐用町にやってきます。ぜひご観覧ください。

●会期　2月5日（水）～2月16日（日）
●展示作品『おれは歌だおれはここを歩く』（福音館書店）

インターネットで蔵書検索・予約ができます　●https：//www.toshokan@town.sayo.lg.jp/